第23回

福岡市都市景観賞 受賞作品

The 23rd FUKUOKA Urban Beautification Award 2009

福岡市都市景観賞審査委員会委員
（50音順 敬称略）

池田　美奈子	九州大学准教授
小野　和美	電通九州MP・CR局プランニング1部長
包清　博之	九州大学教授
坂井　猛	九州大学教授
佐藤　優	九州大学教授
森岡　侑士	NPOデザイン都市・プロジェクト　理事長
山形　紀子	西日本新聞社Web企画チーム担当部長
山下　三平	九州産業大学教授
中村　英夫	福岡市住宅都市局理事

まちなみ写真選考委員会委員
（50音順 敬称略）

池田　美奈子	九州大学准教授
井上　一	ブルックスタジオ代表
佐藤　優	九州大学教授
藤本　健八	フォト・ワークス代表
佐々木喜美代	福岡市市長室広報課長

今年の景観賞は、これまでの審査の中でも異彩を放つ。大型の建造物が「九州大学伊都キャンパス」のみで、受賞対象をながめると「緑」に覆われた景観賞という結果になった。

「珈琲蔵人　珈蔵　愛宕店」は、蔵のようなコーヒーショップの周りに花いっぱいのプランターを巡らす。「百道浜小学校運動場の芝生」は、グランドの中央をすべて目にもあざやかな芝生を敷き詰める。「のこのしまアイランドパーク　お花畑」は、民間の長年の努力によってコスモス畑を市民の憩いの場としている。「けやき通り」は、言わずと知れた樹木による地域ブランド化の象徴的な通りである。

これは、緑が都市の顔になっていく喜ばしい先導例である。緑は、将来の姿をイメージする力や日々の対話が形づくっていくものであり、長い年月の優しい気持ちが積み重なって人々を感応させる。

「ナガタパン箱崎店」は、レトロ調の店舗を現代風の感覚でアレンジしている。「九州大学伊都キャンパス」は、デザインマニュアルをつくり、全学の知見を集めた誠実なプロジェクトである。「バステラス」は、世界的に広告付きのバス停を展開している事業の一環であるが、福岡ではさらに仕様を充実させている。高品位な広告を維持するために厳しい審査委員会をつくり、周辺の案内地図も掲示している。

「能古島行きのフェリーから見た福岡の風景」は、今年の審査の目玉である。従来の景観賞は、見られる対象に対して贈賞していた。設計者や施主を顕彰することにより、その努力を讃え指針を示すことを目的としている。これに対して、「視点場」も大切ではないか、という議論があった。なるほど、見る場所の提供と特定の視点場から見た景観の豊かさは、都市にとってのかけがえのない財産である。主客そろってすぐれた景観と言える。

特別表彰は、「唐津街道姪浜まちづくり協議会の景観形成活動」と「ＪＲ九州の車両デザイン活動」に決まった。前者は、街道のラインとしての魅力アップが期待される。後者は、次々と発表されるデザインの魅力によって地域にさわやかな風を吹き込んでいる。

今年からはじめたまちなみ写真も、主客の関係をよく表している。昨年までは景観エッセーを募集していた。エッセーは心に刻まれた情景を描き出すもので、印象深い作品がたくさん寄せられた。写真では、瞬間の魅力や、活動の魅力などの、象徴的な都市の姿を見たい、ということになった。

今年は第1回目ということで心配していたが、力作が多数集まった。今村出さん、内田善雄さん、長冨幸さん、塗木広信さん、南順子さん、おめでとうございます。

作品としての質が際立った写真を蓄積させ、将来は景観アーカイブスの構築をめざしている。著作権等へも配慮し、すぐれた作品を客観的に評価するので、プロの皆さんの応募も期待したい。

今年は、福岡市と釜山市の姉妹都市締結20周年を記念して、釜山市ＢＥＸＣＯで景観賞受賞作品や福岡のすぐれた景観事例の展示をし、注目された。福岡市都市景観賞の一層のパワーアップをはかりたい。

審査委員長　佐藤 優

一般表彰 General Commendation Review

ナガタパン箱崎店
東区箱崎1丁目44番20号

用途：店舗
完成年月：2008（平成20）年11月
所有者：株式会社ナガタ
設計者：株式会社スリーエフコーポレーション
施工者：株式会社スリーエフコーポレーション

何の変哲もない通りの脇に、ポッカリとレトロな意識の落し穴が空いたような小空間に、一瞬たじろぐ思いである。レトロを演出する道具立ても、建物の内外にわたってきめ細やかなものがある。ただしレトロといっても、小うるさい時代考証によるわけではなく、むしろ私たち庶民の内面に棲みついた生活意識の表出のようなものでもあろうか。夾雑で時として猥雑なまでに膨らみ続けてきた都市空間に対する一服の清涼剤であるには違いないが、そればかりではあるまい。都市やその空間の持続可能性などという言葉の実質が一体なにのか、そのようなことにふと思いを駆られる景観が産み出されたと見たい。

（審査委員　森岡 侑士）

珈琲蔵人 珈蔵（かくら）愛宕店
西区愛宕3丁目2番13号

用途：喫茶店
完成年月：2002（平成14）年4月
所有者：有限会社珈童
設計者：株式会社森八田設計事務所
施工者：上村建設株式会社

珈琲蔵人　珈蔵　愛宕店は、明治通りと室見川の接点である室見橋西詰付近に位置し、幹線道路沿いから良く認識される場所に位置する。和風の外観の建物とその周りに配置された色とりどりの季節の花木や草花の鉢植えは、沿道を往来する人々に季節感や潤いを提供している。また、飲食店である店舗に出入りする人々には、珈琲の香りとともに植物による季節の彩りを提供することで室見川沿いの街並みの雰囲気や景観を認識する機会を提供している。このような建物周りへの多種類の植物の配置は、ややもすると雑多な印象となりがちであるが、珈蔵では非常に良くアレンジされ管理されており、街角の景観形成に良く寄与している点で高く評価される。　（審査委員　包清 博之）